

The Art of Guitar Duo - ギターデュオの芸術 -

SoloDuo

Matteo Mela & Lorenzo Micheli, Guitars



レスピーギ：ノットゥルノ
ドビュッシー：小組曲
J.S.バッハ：イタリア協奏曲
ピアソラ：タンゴ組曲

ロッシーニ：歌劇「イングランド女王エリザベッタ」序曲
(ジュリアーニ編)
ロレンツォ・ミケーリ：水の音楽(シューベルトに基づく)
ブラームス：間奏曲 Op.118-2
ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第9番《悲愴》Op.13

プログラムを変更する場合がございます。ご承知おき願います。

2026 **7/12** [日] 16:30 開場
17:00 開演

Halle Runde (名古屋市昭和区桜山町)

[チケット代金 (全席自由)] 整理番号順入場

*WEB早期申込み割引あり

一般：4,500円 学生：2,000円

ペア：8,000円 (ルンデ取扱のみ)

チケットの購入はこちらから

ルンデ

<https://dbf.jp/runde/r260712>

*未就学児のご入場はお断りいたしております。



『花束よりチケットを』

ルンデでは出演者のプレゼント等は受付にてお預かりいたしません。そのお気持ちをチケットにかえて、ご家族、ご友人とお越しいただけましたらうれしく思います。

SoloDuo - ソロデュオ -

マッテオ・メラとロレンツォ・ミケーリが組んだ「ソロデュオ」はヨーロッパ、アジア、アメリカ、カナダ、中南米で演奏し、各地で絶賛を受けてきた。ウィーンのコツェルトハウス、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ニューヨークのカーネギーホール、ソウルのセジョン・チェンバーホールなど名だたるホールで演奏し「史上最高のアンサンブルの一つ」と称されてきた。ワシントン・ポスト紙は「二人の演奏はまさに陶酔的で、深遠かつ忘れがたい。最高水準の音楽性だ」と絶賛している。二人は古典派、ロマン派、現代作品に加え、リュート奏者のマッシモ・ロナルディと共に、17～18世紀イタリア音楽を広く探求してきた。

これまでにフランソワ・ド・フォッサの《三重奏曲集 作品19》、17世紀イタリア音楽をバロック・ギター、アーチリュート、テオルボで演奏した《La Suave Melodia (ラ・スアーヴェ・メロディア)》、アレッサンドロ・スカララッティのアリアとカンタータ集《クロロリ、ニンフと恋人》、20世紀ギター二重奏の名作集《ソラリア》、アントワヌ・ド・ロワイエの《協奏的二重奏曲》、19世紀ギター作品集《ノエシス》、フェルディナンド・レバイのソナタ、マリオ・カステルヌオーヴォ＝テデスコの《24の前奏曲とフーガ》、《メタモルフォーゼス》、ベートーヴェンのソナタ選集を録音してきたのに加え、十数枚に及ぶソロの録音もある。最新作《スカララッティ：12のソナタ》は、2024年2月にEvidence Classicsよりリリースされた。

マッテオはスイス・ジュネーブに在住、ジュネーブ音楽院で教鞭をとっている。ロレンツォはイタリア・ミラノ在住、スイス・ルガーノの音楽大学でギター科の教授、および大学院課程主任を務めている。コロラド大学ボルダー校およびジョージア州コロンバスのコロンバス州立大学のアーティスト・イン・レジデンスも務める。二人はダダリオ社製の弦を使用している。

<https://www.soloduo.it/>

マッテオ・メラ (ギター)

1971年、イタリアのインペリア生まれ。レンツォ・ドリャ・ミリエッタに師事した後、音楽学を学ぶべくクレモナ大学に入学。そこでジョヴァンニ・ブドゥと出会い大きな影響を受ける。同時にアンジェロ・ジラルディーノ、アリリオ・ディアス、オスカー・ギリア、デイヴィッド・ラッセル、アサド兄弟といった著名な音楽家の指導を受ける機会にも恵まれた。さらに、イモラ・ピアノアカデミーにおいてダリオ・デ・ローザ、アレクサンダー・ロンキヒ、ピエル・ナルシソ・マージラから室内楽を学んだ。

1991年、メラ＝バンディーニ・デュオを結成し、1998年にかけてローマのアラム(1992年)、F.チレア(1993年)、GMI(1994年)、グッピオ、カルタニッセッタ、ペルージャ・クラシコ(いずれも1995年)といった権威ある室内楽コンクールで次々と優勝を果たした。

2002年にはロレンツォ・ミケーリとデュオを結成し、ヨーロッパ、アジア、アメリカ、カナダ、ラテンアメリカ各地で演奏を行い、ニューヨークのカーネギーホール、ソウルのセジョン・チェンバーホール、ウィーンのコツェルトハウスなど、世界中の会場で演奏し、絶賛されてきた。スイス・ジュネーブ音楽院で教鞭を執るほか、Naxos、Mel Bay、Stradivariusといったレーベルにおいて定期的に録音を行っている。

ロレンツォ・ミケーリ (ギター)

アレッサンドリア国際ギターコンクールやギター・ファウンデーション・オブ・アメリカ(GFA)など、世界的に著名な国際ギターコンクールで優勝。世界各地で精力的な演奏活動を行ってきた。ソリストとしてヨーロッパ各国、北米(アメリカとカナダの200都市)、さらにアフリカ、アジア、オーストラリア、ラテンアメリカで600回を超えるコンサートを行っている。2002年以降はマッテオ・メラとのデュオ「SoloDuo」として世界中で演奏している。

ディスコグラフィは20点以上にのぼり、Naxos、Stradivarius、Pomegranate、Soundset、Amadeusといったレーベルからリリースされている。ディオニシオ・アグアドの作品、フランソワ・ド・フォッサの弦楽四重奏曲Op.19、ウィーンの作曲家フェルディナンド・レバイのソナタ集、17世紀イタリアのバロック・ギター、アーチリュート、テオルボのための音楽、アレッサンドロ・スカララッティのアリアとカンタータ集、マリオ・カステルヌオーヴォ＝テデスコのギター協奏曲全集と2台ギターのための24の前奏曲とフーガ、マウロ・ジュリアーニの室内楽名作集(2枚組)、ミゲル・リョベートのギター作品全集、アントワヌ・ド・ロワイエの協奏的二重奏曲集、2台ギターのためのアンソロジー「Noesis」「Solaria」「Metamorphoses」、さらにデイヴィッド・ノップラーとの共演アルバム「Morning in Iowa」など多岐にわたる。最新録音は「Autumn of the Soul」(Contrastes Records)。

活発な編曲者・研究者としても知られ、マリオ・カステルヌオーヴォ＝テデスコやフェルディナンド・レバイといった作曲家による独奏・室内楽作品の楽譜出版も手がけている。さらに、カナダの出版社「Les Productions d'Oz」の2台ギターのための楽譜シリーズの編集責任者も務める。

チケット販売 ▶▶ 芸文プレイガイド (052-972-0430) / ブレイクカフェ (Halle Runde 1階)

Web Live Concert 同時開催 ルンデ会員登録が必要です。詳しくはルンデWebサイトのチケット購入ページでご確認ください。

ご来場の皆さんへお願い

- 発熱(37.5℃以上)および体調不良の方のご来場はお控えください。公演後でも構いませんのでご連絡いただきましたら、ルンデ主催の他公演への振替をいたします。
- マスクのご持参をお願いいたします。感染症蔓延期は必ずご着用ください。
- ご来場いただく皆さんと共に作る音楽の場です。気軽に来ただけの場を目指していますが、よりよい空間にするためのルールとお願い事を下記URLのWebページに記載してありますので、お時間があるときにご確認ください。

[ご来場の皆様へ(ルンデのルールその.2)]

<https://dbf.jp/runde/index.cfm?page=rule02>



一般財団法人 ルンデ

〒466-0044 名古屋市昭和区桜山町1丁目21番

TEL : 052-846-8566 / E-mail : runde@dbf.jp

[アクセス]

ホールへお越しの方の駐車場ご利用はお断りいたします。

名古屋駅からは、名古屋市営地下鉄桜通線

金山駅からは、名古屋市営バスをご利用ください。

・名古屋市営地下鉄桜通線・鶴舞線「御器所駅」3番出口

・名古屋市営地下鉄桜通線「桜山駅」1番出口

・名古屋市営バス「桜山」

(それぞれ徒歩10分程度)

<https://dbf.jp/runde/>

